

<p>&lt;エントリーシート&gt;</p> <p>※事務局記入欄No. : D -67</p>	<p>部門 校内研修プログラム開発・実践部門</p> <p>活動名 研究授業を充実させるには ～ブレインライティングを用いた研修</p>	<p>学校名・氏名 和歌山県立紀北農芸高等学校 教諭 横田望</p>
<p><b>解決すべき課題：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業や公開授業の充実が授業改善のためには必須である。しかし、教育課程の編成や業務の多忙化により、参観者が少ない現状にある。</li> <li>普通科と農業科のさらなる交流をはかるため、今回の研修をきっかけとして、普通科と農業科の教員が課題意識を共通にもち、解決のために話し合う場を設けることが、チーム学校としての第一歩になると考えた。</li> <li>日頃全体で意見を控えている若手教員がこの研修で少しでも意見や考えを出し、それが学校全体で生かされる場を作るきっかけにしたいと考えた。</li> </ul>		
<p><b>目標・方針：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業について農業科と普通科の枠を越えて議論を深めることができる構成を設定。</li> <li>課題を共有し、改善に向けて前向きな提案が出る場にする</li> <li>他者の意見や考えが見えるように研修を設定、短時間で話し合いが充実するように流れを設定。</li> <li>ブレインライティングを用いた手法の研修を体験し、参加者の頭の中に残るように工夫。</li> </ul>		
<p><b>活動内容：</b></p> <p>①第1回次世代リーダー研修の伝達講習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントを用いて研修全体で学び、感じたことを簡潔に伝えた。その中で、「新しい学びの推進」の講座についてはプリントを配布し、詳しく伝えた。一方的にならないように、研修の中で体験した演習を参加者に体感してもらう機会をつくった。(写真1・写真2)</li> </ul> <p>②ブレインライティングを用いた研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この手法を用いた研修は中央研修の研修で経験した。</li> <li>今回の研修での流れを説明し、実際は課題設定から行うことなど補足を加えた。</li> <li>今回は体験を主としているので、課題設定は運営側で行った。</li> <li>グループ分けを行い、5分1セットで3つアイデアを出してもらうよう指示、詳しい説明をせず。→1回目は戸惑い等でなかなか進まなかったが、回数を重ねていくたびに、スムーズに進んでいった。</li> </ul> <p>流れ：アイデアをグループ内で出し合う。→グループ内で話し合い(アイデアをまとめる：写真3・写真4) →全体で報告(写真5)</p> <p>*今回は2グループ編成であり、体験を主としていたので、時間配分は短く設定。しかし、最後の報告をみると、アイデアがたくさん出されていた。また、グループ内での議論も活発であった。</p>		
<p><b>活動の成果：</b></p> <p>次世代リーダー研修の伝達講習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最新の教育について、情報を共有し、今後学校をどうするかを考えることができた。</li> <li>課題：時間設定 研修対象(今回は若手教員を中心に実施した)</li> </ul> <p>ブレインライティングを用いた研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通科、専門教科の枠を越えてグループを作る。様々なアイデアや意見を共有することができた</li> <li>課題：テーマ設定→付箋を用いてブレインライティング→グループでまとめる→全体で共有→実践までした方がより充実した内容となる。そのためには時間・実施時期等を考える必要がある。テーマ設定から考えていくとより学校の課題等が明確化し議論等が深まると考える。</li> </ul> <p>全体を通じて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門教科(農業)教員と普通科教員が授業について議論する機会を作ることができ、それぞれの立場での考えを知ることができた。実習等様々な授業を充実させるために短時間ではあったが、多くのアイデアが出た。今後は本研修会で出たアイデアをどのようにして学校全体のものにし、実現に向けてどのようにしていくかが課題としてあげられる。</li> <li>研修を全教職員が参加し、実施できるように時期設定や内容設定について考える必要性を感じた。</li> <li>多忙化の中で参加したいと想わせる研修を企画・運営していきたいと思う。</li> </ul> <p>○協議で出た新しいアイデア「研究授業を充実させるには」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒を交えて研究協議をする ・生徒に「テーマ」(その授業の単元)を決めてもらう。</li> <li>普通教科と専門教科との目線・時間割変更等を実施し参観者を増やす。</li> </ul>		

・研究協議の仕方(悪いところを言いやすく、観てほしいポイントや意識したポイントを予告する)  
**(参加者の感想)**

- 授業改善にむけて研修するとしたらどのような研修がいいですか
  - ・新しい学びの推進について、主体的で対話的な深い学びが授業でどのように実践できるか。新しい教授法についての研修をしたい。
  - ・テーマ何でもよい、今回のような研修会を開き、職員間でディスカッションすることが有意義。
- 感想
  - ・伝達講習の内容で知らなかったことが多く、勉強になった
  - ・伝達講習の内容で「たしかに」や「そうだったのか」と思うことが多くあった。
  - ・他の先生と学校に対する熱意に差があったのかなと反省した。

\*感想を見ると勉強になったという点や、議論をする中で、自分への気付きを感じた参加者もあり、有意義となったのではないかと思います。

**アピールポイント(アイデアや工夫)：**

- ・自分が中央研修で経験した演習にアレンジを加えて本校教員(若手)向けの研修を設定した。

写真1



写真2



写真3



写真4



写真5

